株式会社NTTデータ経営研究所

Lighting the way
to a brighter society

厚生労働科学研究「薬剤師のキャリア形成に関する研究」 第1回班会議（2024年8月28日）資料

令和5年度「薬剤師のキャリア形成促進に関する研究」で行われた病院向けアンケート調査のクロス集計結果

株式会社NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット
西尾、田島、森田
林、荒川

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

目次

- 背景・目的
- クロス集計項目
- 結果
  - 病院施設向け調査結果
  - 病院薬剤師向け調査結果
- 考察

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

背景・目的

- 弊社では「令和6年度薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」（本事業）を実施している。
- 本事業では、研修施設の受入体制の整備に向けた検討および臨床研修の効果検証を実施するが、それらの検討に資する卒後臨床研修の課題等の情報を得るため、令和5年度「薬剤師のキャリア形成促進に関する研究」で実施された病院向けアンケート調査結果の分析を行った。

受託事業概要

業務概要

① **研修施設の受入体制の整備に向けた検討**
② 指導体制・指導薬剤師の育成
③ 海外等における臨床研修の状況調査
④ **臨床研修の効果検証**

ゴール

薬剤師臨床研修の効果的な実施に向けた体制の構築

患者アウトカムの向上

アンケート調査票のイメージ



© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

クロス集計項目

- 「薬剤師のキャリア形成促進に関する研究」で実施された病院および病院薬剤師を対象としたアンケート調査結果より下記項目のクロス集計を実施。

病院施設向け調査

- 病床数
- 職員数（常勤薬剤師数）
- 100床あたりの薬剤師数
- 開設主体

×

- 新人研修の実施の有無
- レジデント制度の実施の有無
- 研修期間
- 研修の受け入れ可能人数
- 卒後臨床研修の公的負担による実施の可否
- 卒後臨床研修を行うにあたり考えられる問題点
- 新人研修の評価方法

病院薬剤師向け調査

- 研修を行う上で適切と考える時期
- 年間の研修受講回数
- 勤務する病院の病床数
- 大学病院か否か

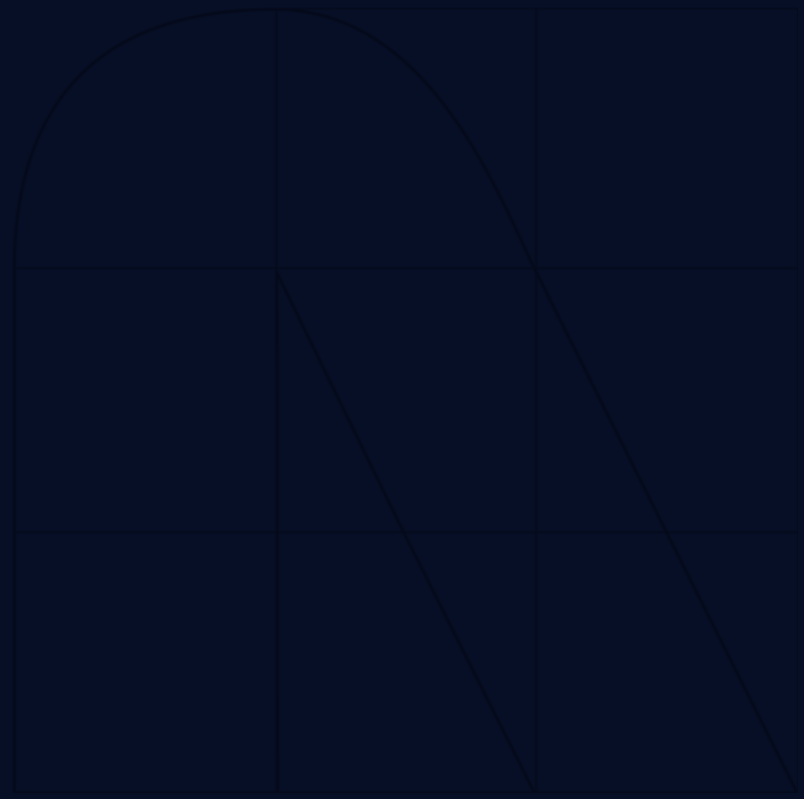
×

- 今後取り組みたい学術活動
- 将来的なキャリア形成の意向

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

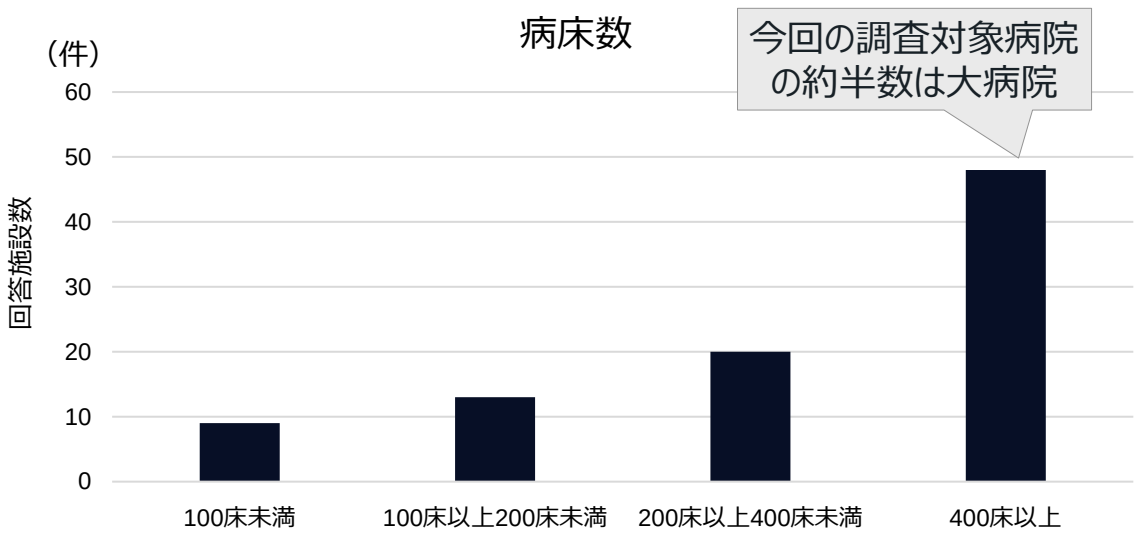
1

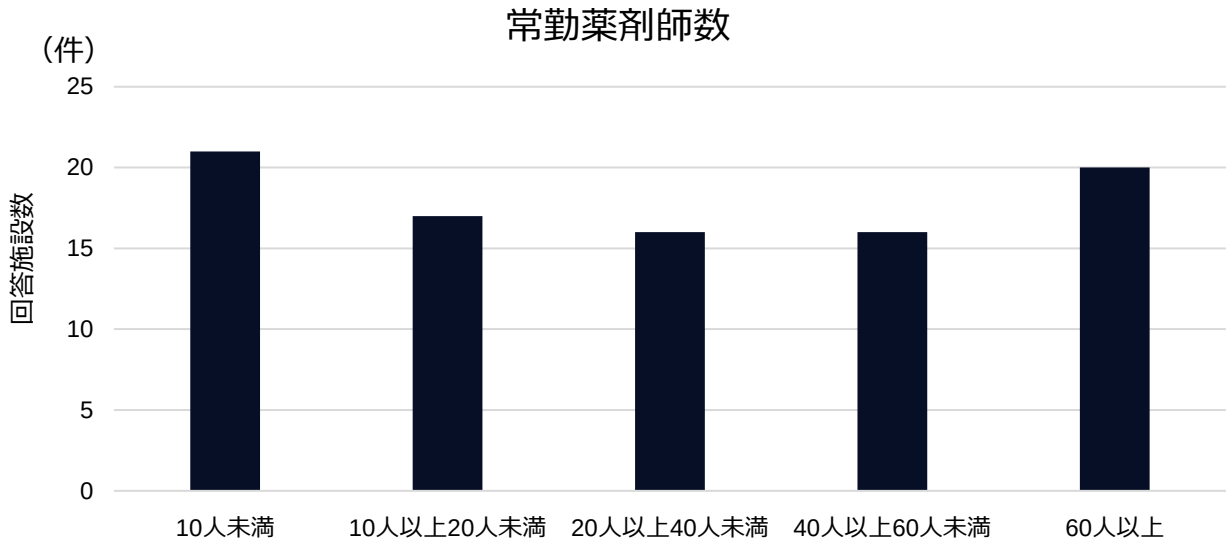
病院施設向け調査結果

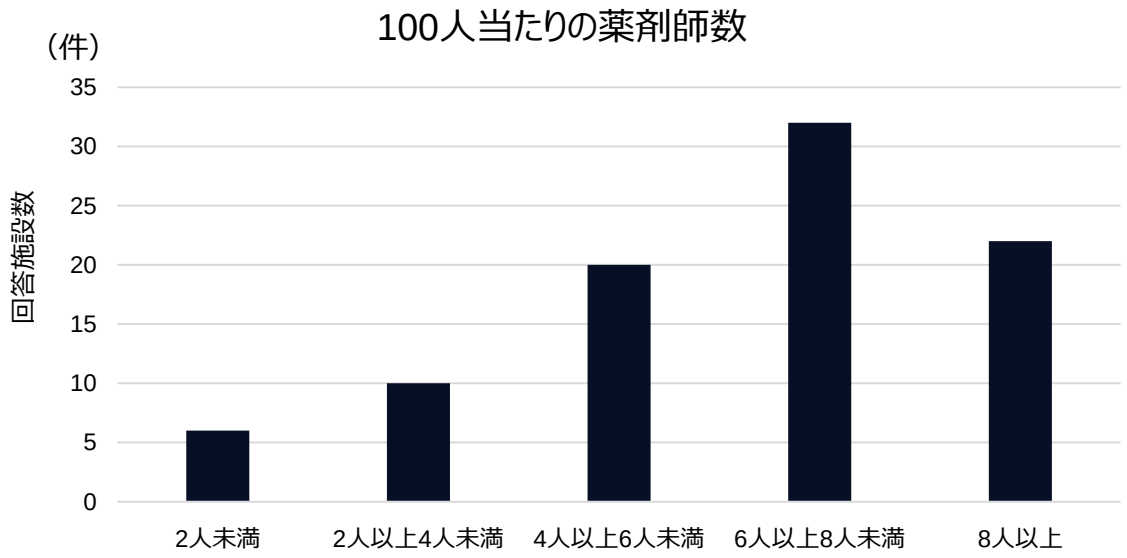


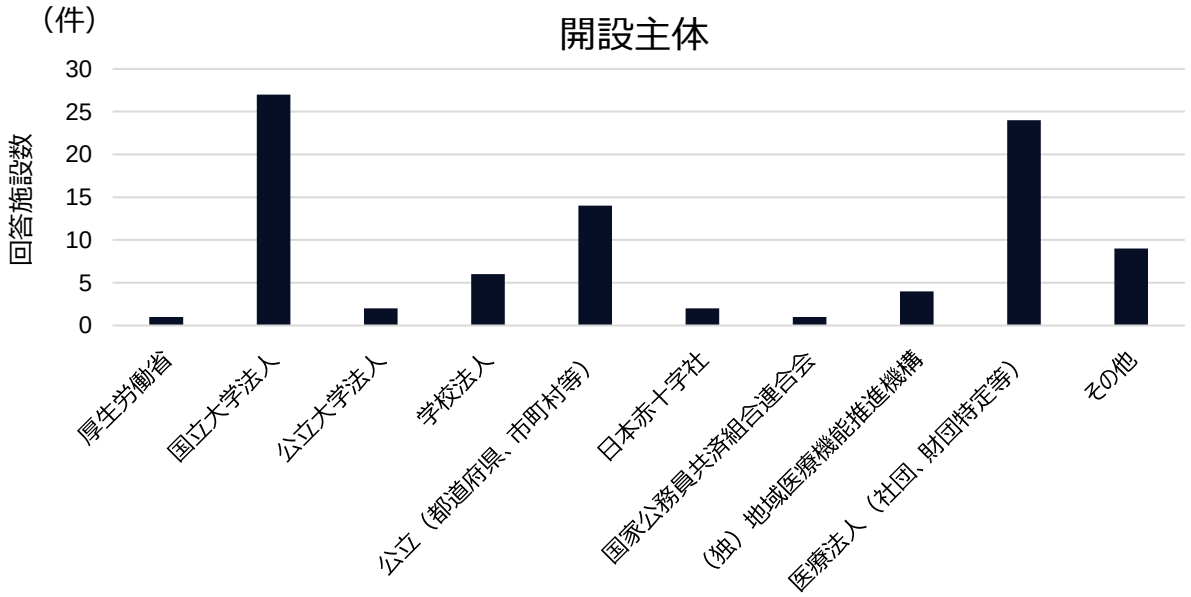
© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

病院施設向け調査結果の分析項目のカテゴリ別回答施設数 (n =90)









© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

新人研修およびレジデント制度の実施の有無

- 規模が大きい病院ほど、また常勤薬剤師が多い病院ほど新人職員研修、レジデント制度を実施している割合が高い。
- 400床未満の病院ではほとんどレジデント制度が実施されていない。

新人職員の研修の実施の有無（病床数別）

	n数	実施している	実施していない	検討中
1：100床未満	9	11.1%	77.8%	11.1%
2：100床以上200床未満	13	30.8%	53.8%	15.4%
3：200床以上400床未満	20	70.0%	15.0%	15.0%
4：400床以上	48	77.1%	14.6%	8.3%
総計	90	62.2%	26.7%	11.1%

レジデント制度の実施の有無（病床数別）

	n数	実施している	実施していない	検討中
1：100床未満	9	0.0%	100.0%	0.0%
2：100床以上200床未満	13	7.7%	92.3%	0.0%
3：200床以上400床未満	20	0.0%	100.0%	0.0%
4：400床以上	48	31.3%	58.3%	10.4%
総計	90	17.8%	76.7%	5.6%

新人職員の研修の実施の有無（常勤薬剤師数別）

	n数	実施している	実施していない	検討中
1：10人未満	21	19.0%	71.4%	9.5%
2：10人以上20人未満	17	64.7%	11.8%	23.5%
3：20人以上40人未満	16	81.3%	0.0%	18.8%
4：40人以上60人未満	16	75.0%	18.8%	6.3%
5：60人以上	20	80.0%	20.0%	0.0%
総計	90	62.2%	26.7%	11.1%

レジデント制度の実施の有無（常勤薬剤師数別）

	n数	実施している	実施していない	検討中
1：10人未満	21	0.0%	100.0%	0.0%
2：10人以上20人未満	17	5.9%	94.1%	0.0%
3：20人以上40人未満	16	12.5%	75.0%	12.5%
4：40人以上60人未満	16	25.0%	68.8%	6.3%
5：60人以上	20	45.0%	45.0%	10.0%
総計	90	17.8%	76.7%	5.6%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

新人職員の卒後研修期間

- 規模が大きい病院ほど、また常勤職員数が多い病院ほど新人職員の卒後研修を長く実施している割合が高い。
  ※本調査での卒後研修期間とは新人職員に対するプログラムに基づいた教育・研修を指す。

新人職員の卒後研修期間（病床数別）

	n数	1年以上	1年以内	6ヶ月以内	3ヶ月以内
1：100床未満	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
2：100床以上200床未満	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
3：200床以上400床未満	14	7.1%	57.1%	28.6%	7.1%
4：400床以上	37	45.9%	32.4%	16.2%	5.4%
総計	56	32.1%	41.1%	19.6%	7.1%

新人職員の卒後研修期間（常勤薬剤師数別）

	n数	1年以上	1年以内	6ヶ月以内	3ヶ月以内
1：10人未満	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
2：10人以上20人未満	11	0.0%	63.6%	27.3%	9.1%
3：20人以上40人未満	13	38.5%	38.5%	23.1%	0.0%
4：40人以上60人未満	12	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
5：60人以上	16	56.3%	18.8%	12.5%	12.5%
総計	56	32.1%	41.1%	19.6%	7.1%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

卒後臨床研修者を受け入れ可能な人数

- 規模が大きい病院ほど、また常勤職員数が多い病院ほど卒後臨床研修者を受け入れ可能な人数が多い傾向にある。

卒後臨床研修者を受け入れ可能な人数（病床数別）

	n数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	10人	15人
1：100床未満	9	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2：100床以上200床未満	13	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3：200床以上400床未満	20	35.0%	35.0%	25.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4：400床以上	48	12.5%	12.5%	33.3%	12.5%	12.5%	6.3%	4.2%	4.2%	2.1%
総計	90	28.9%	23.3%	24.4%	7.8%	6.7%	3.3%	2.2%	2.2%	1.1%

卒後臨床研修者を受け入れ可能な人数（常勤薬剤師数別）

	n数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	10人	15人
1：10人未満	21	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2：10人以上20人未満	17	29.4%	52.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3：20人以上40人未満	16	12.5%	25.0%	37.5%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4：40人以上60人未満	16	0.0%	12.5%	56.3%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%
5：60人以上	20	20.0%	0.0%	20.0%	15.0%	20.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%
総計	90	28.9%	23.3%	24.4%	7.8%	6.7%	3.3%	2.2%	2.2%	1.1%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

卒後臨床研修を実施する上で、公的負担による実施の可否

- 公的負担がない場合には400床以上では約4割が実施可能であるが、400床未満では約1割に留まる。
- 一方で公的負担がある割合には、100床以上で約4割以上が実施可能となる。

卒後臨床研修を実施する上で、公的負担による実施の可否（病床数別）

	n数	公的負担がなくても実施可能	公的負担があれば実施可能	実施不可能
1：100床未満	9	11.1%	11.1%	77.8%
2：100床以上200床未満	13	7.7%	46.2%	46.2%
3：200床以上400床未満	20	10.0%	60.0%	30.0%
4：400床以上	48	43.8%	45.8%	10.4%
総計	90	27.8%	45.6%	26.7%

卒後臨床研修を実施する上で、公的負担による実施の可否（常勤薬剤師数別）

	n数	公的負担がなくても実施可能	公的負担があれば実施可能	実施不可能
1：10人未満	21	4.8%	23.8%	71.4%
2：10人以上20人未満	17	11.8%	58.8%	29.4%
3：20人以上40人未満	16	25.0%	68.8%	6.3%
4：40人以上60人未満	16	62.5%	37.5%	0.0%
5：60人以上	20	40.0%	45.0%	15.0%
総計	90	27.8%	45.6%	26.7%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

卒後臨床研修を行うにあたって考えられる問題点

- 病院規模が小さいほど、また常勤職員数が少ないほど卒後臨床研修を行うにあたって考えられる問題点が多い傾向にある。

卒後臨床研修を行うにあたって考えられる問題点（病床数別）

	n数	指導者側に教育にかける時間がない	教育できる指導者がいない	教育用のツールがない	慢性的な人員不足で新人であってもすぐに業務を行ってもらわざるを得ない 状況である	施設で教育した人材を他施設へ輩出することを考えにくい	特に問題なし	その他
1：100床未満	9	88.9%	44.4%	55.6%	100.0%	0.0%	0.0%	22.2%
2：100床以上200床未満	13	69.2%	23.1%	38.5%	76.9%	0.0%	7.7%	15.4%
3：200床以上400床未満	20	65.0%	15.0%	50.0%	65.0%	0.0%	0.0%	15.0%
4：400床以上	48	43.8%	14.6%	16.7%	47.9%	0.0%	22.9%	29.2%
総計	90	56.7%	18.9%	31.1%	61.1%	0.0%	13.3%	23.3%

卒後臨床研修を行うにあたって考えられる問題点（常勤薬剤師数別）

	n数	指導者側に教育にかける時間がない	教育できる指導者がいない	教育用のツールがない	慢性的な人員不足で新人であってもすぐに業務を行ってもらわざるを得ない 状況である	施設で教育した人材を他施設へ輩出することを考えにくい	特に問題なし	その他
1：10人未満	21	76.2%	23.8%	42.9%	85.7%	0.0%	4.8%	23.8%
2：10人以上20人未満	17	82.4%	29.4%	58.8%	76.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3：20人以上40人未満	16	37.5%	6.3%	25.0%	43.8%	0.0%	0.0%	37.5%
4：40人以上60人未満	16	50.0%	31.3%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	31.3%
5：60人以上	20	35.0%	5.0%	5.0%	45.0%	0.0%	35.0%	25.0%
総計	90	56.7%	18.9%	31.1%	61.1%	0.0%	13.3%	23.3%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

新人研修の評価方法

- 病院規模が大きくなるほど、また常勤薬剤師数が多くなるほどルーブリック評価や面談等、組織的な評価が行われている割合が高い。

―― 新人研修の評価方法（病床数別） ――

	n数	ルーブリック評価票を用いている	ルーブリック以外の評価票を用いている	面談により評価している	特に評価方法を定めていない	その他
1：100床未満	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
2：100床以上200床未満	6	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%
3：200床以上400床未満	15	33.3%	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
4：400床以上	38	36.8%	57.9%	60.5%	5.3%	5.3%
総計	60	33.3%	43.3%	56.7%	13.3%	5.0%

―― 新人研修の評価方法（常勤薬剤師数別） ――

	n数	ルーブリック評価票を用いている	ルーブリック以外の評価票を用いている	面談により評価している	特に評価方法を定めていない	その他
1：10人未満	4	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
2：10人以上20人未満	13	23.1%	23.1%	38.5%	38.5%	0.0%
3：20人以上40人未満	14	35.7%	42.9%	64.3%	0.0%	7.1%
4：40人以上60人未満	12	58.3%	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%
5：60人以上	17	23.5%	64.7%	70.6%	11.8%	5.9%
総計	60	33.3%	43.3%	56.7%	13.3%	5.0%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

開設主体別の新人研修実施割合

- n数が10件以上の開設主体に着目すると新人研修を実施している割合は、国立大学法人（77.8%）、公立（57.1%）、医療法人（45.8%）の順に高い。

—— 開設主体別新人研修実施割合 ——

	n数	実施している	実施していない	検討中
1：厚生労働省	1	100.0%	0.0%	0.0%
3：国立大学法人	27	77.8%	14.8%	7.4%
4：公立大学法人	2	50.0%	0.0%	50.0%
5：学校法人	6	33.3%	50.0%	16.7%
7：公立（都道府県、市町村等）	14	57.1%	42.9%	0.0%
8：日本赤十字社	2	100.0%	0.0%	0.0%
11：国家公務員共済組合連合会	1	100.0%	0.0%	0.0%
12：（独）地域医療機能推進機構	4	100.0%	0.0%	0.0%
14：医療法人（社団、財団特定等）	24	45.8%	37.5%	16.7%
16：その他	9	55.6%	22.2%	22.2%
総計	90	62.2%	26.7%	11.1%

（開設主体別病床数別施設数割合）

100床未満	100床以上200床未満	200床以上400床未満	400床以上
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
3.7%	3.7%	0.0%	92.6%
0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
0.0%	33.3%	0.0%	66.7%
28.6%	21.4%	21.4%	28.6%
0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
16.7%	29.2%	33.3%	20.8%
0.0%	0.0%	22.2%	77.8%
10.0%	14.4%	22.2%	53.3%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

開設主体別の公的負担の有無による卒後研修の実施可否

- 病床数の多い開設主体が、公的負担がなくても卒後研修が実施可能な割合が高い。

―― 開設主体別の公的負担の有無による卒後研修の実施可否割合 ――

	n数	公的負担がなくても実施可能	公的負担があれば実施可能	実施不可能
1：厚生労働省	1	0.0%	100.0%	0.0%
3：国立大学法人	27	40.7%	48.1%	11.1%
4：公立大学法人	2	50.0%	0.0%	50.0%
5：学校法人	6	33.3%	66.7%	0.0%
7：公立（都道府県、市町村等）	14	21.4%	35.7%	42.9%
8：日本赤十字社	2	0.0%	50.0%	50.0%
11：国家公務員共済組合連合会	1	0.0%	0.0%	100.0%
12：（独）地域医療機能推進機構	4	25.0%	75.0%	0.0%
14：医療法人（社団、財団特定等）	24	12.5%	41.7%	45.8%
16：その他	9	44.4%	44.4%	11.1%
総計	90	27.8%	45.6%	26.7%

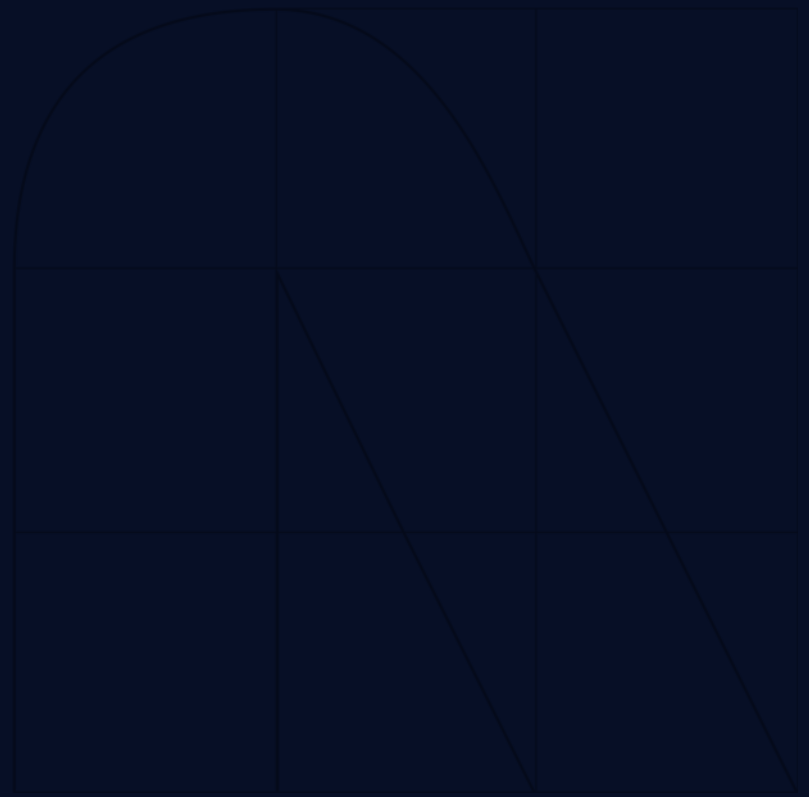
（開設主体別病床数別施設数割合）

100床未満	100床以上200床未満	200床以上400床未満	400床以上
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
3.7%	3.7%	0.0%	92.6%
0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
0.0%	33.3%	0.0%	66.7%
28.6%	21.4%	21.4%	28.6%
0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
16.7%	29.2%	33.3%	20.8%
0.0%	0.0%	22.2%	77.8%
10.0%	14.4%	22.2%	53.3%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

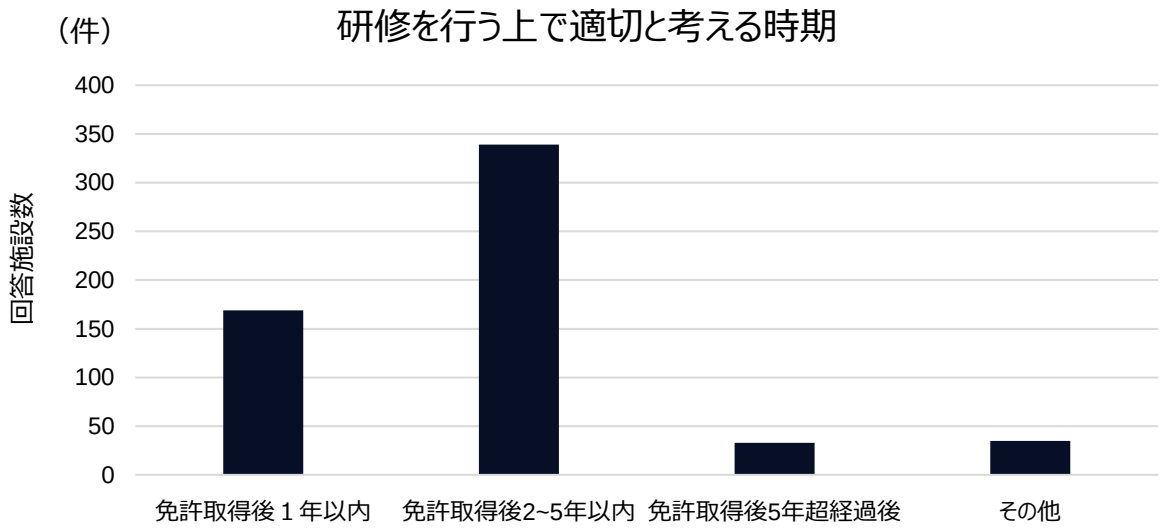
2

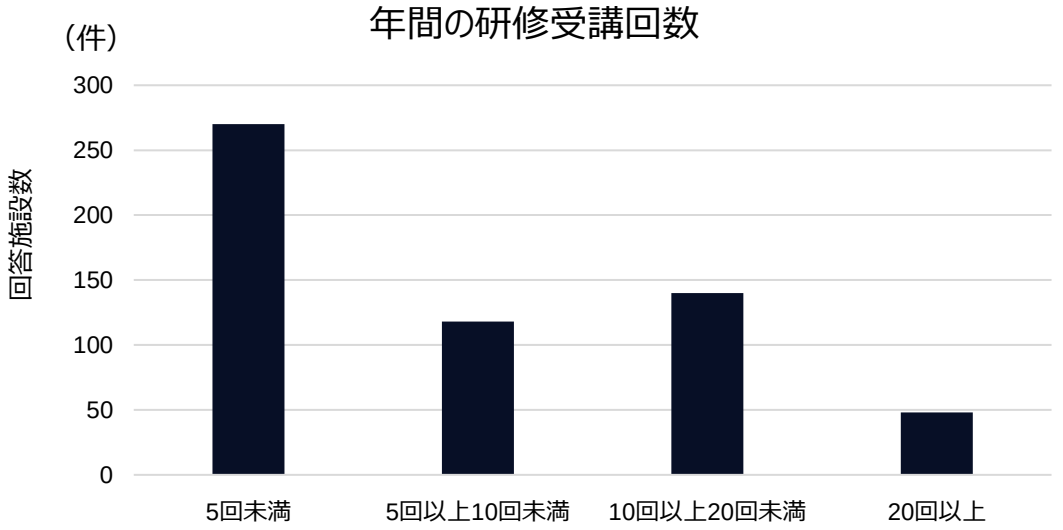
病院薬剤師向け調査結果

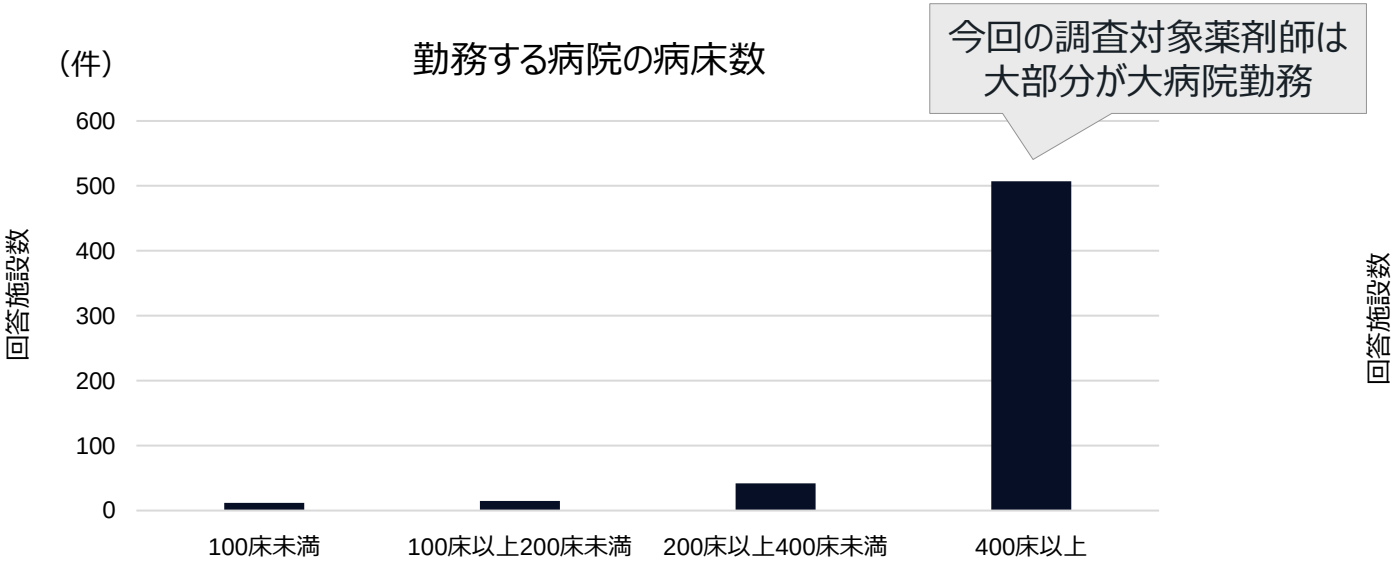


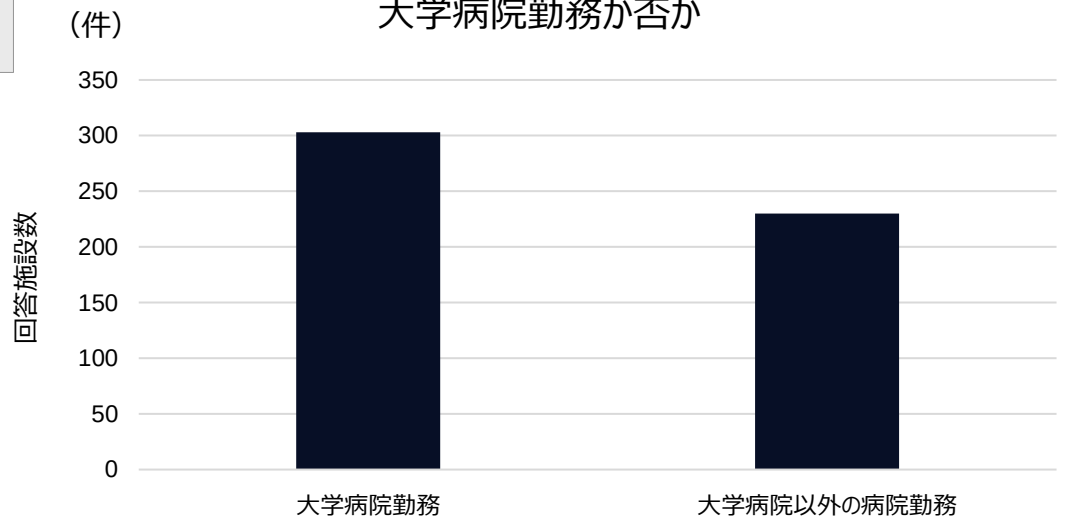
© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

病院薬剤師調査の分析項目のカテゴリ別回答施設数 (n =576)









© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

卒後臨床研修を受けると仮定した上で適切と考える時期別のキャリア形成に関する意向

- 研修を受ける上で適切だと思う時期が「免許取得後1年以内」、「免許取得後2~5年以内」と回答している薬剤師は「免許取得後5年超経過後」と回答している薬剤師より学術活動、認定薬剤師の取得を目指す割合が高い。

—— 今後取り組みたい学術活動 ——

	n 数	学会等でのポスター・口頭発表	学会等でのシンポジウム企画	論文投稿	日本病院薬剤師会や学会等の委員会への参加	その他	取り組みたい学術活動はない
1：免許取得後 1 年以内	169	72.8%	12.4%	45.6%	100.0%	2.4%	13.6%
2：免許取得後2~5年以内	339	68.4%	13.0%	46.6%	20.1%	0.6%	14.2%
3：免許取得後5年超経過後	33	42.4%	9.1%	39.4%	20.6%	3.0%	36.4%
4：その他	35	68.6%	25.7%	54.3%	15.2%	0.0%	14.3%
総計	576	68.2%	13.4%	46.4%	22.9%	1.2%	15.3%

—— 将来的なキャリア形成の意向 ——

	n 数	認定薬剤師の取得	専門薬剤師の取得	学位（薬学博士）の取得	学位（薬学博士以外）の取得	その他
1：免許取得後 1 年以内	169	50.3%	27.8%	16.6%	3.6%	6.5%
2：免許取得後2~5年以内	339	46.0%	32.7%	11.5%	5.0%	7.1%
3：免許取得後5年超経過後	33	18.2%	24.2%	12.1%	0.0%	6.1%
4：その他	35	34.3%	17.1%	5.7%	17.1%	17.1%
総計	576	45.0%	29.9%	12.7%	5.0%	7.5%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

外部研修の受講頻度（年平均）別のキャリア形成に関する意向

- 外部研修の受講頻度が多くなるほど、今後取り組みたい個々の学術活動がある割合が高くなる傾向がある。
- 外部研修の受講頻度が多くなるほど、専門薬剤師の取得、学位（薬学博士）の取得を目指す割合が他の選択肢より高くなる傾向がある。

―― 今後取り組みたい学術活動 ――

	n 数	学会等でのポスター・口頭発表	学会等でのシンポジウム企画	論文投稿	日本病院薬剤師会や学会等の委員会への参加	その他	取り組みたい学術活動はない
1：5回未満	270	60.7%	10.0%	35.6%	16.7%	0.7%	20.7%
2：5回以上10回未満	118	74.6%	14.4%	52.5%	22.0%	1.7%	12.7%
3：10回以上20回未満	140	72.9%	15.0%	55.7%	22.1%	0.7%	9.3%
4：20回以上	48	81.3%	25.0%	64.6%	31.3%	4.2%	8.3%
総計	576	68.2%	13.4%	46.4%	20.3%	1.2%	15.3%

―― 将来的なキャリア形成の意向 ――

	n 数	認定薬剤師の取得	専門薬剤師の取得	学位（薬学博士）の取得	学位（薬学博士以外）の取得	その他
1：5回未満	270	43.3%	22.6%	8.9%	4.1%	6.3%
2：5回以上10回未満	118	44.9%	28.8%	13.6%	4.2%	9.3%
3：10回以上20回未満	140	46.4%	36.4%	15.7%	7.1%	6.4%
4：20回以上	48	50.0%	54.2%	22.9%	6.3%	12.5%
総計	576	45.0%	29.9%	12.7%	5.0%	7.5%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

勤務する病院の病床数別のキャリア形成に関する意向

- 規模が大きい病院で勤務する薬剤師は、今後取り組みたい学術活動が多い割合が高い。
- 100床未満の病院で勤務する薬剤師は、資格や学位の取得など、将来的なキャリア形成について意向を持っている人の割合が低い傾向にある。

今後取り組みたい学術活動

	n数	学会等でのポスター・口頭発表	学会等でのシンポジウム企画	論文投稿	日本病院薬剤師会や学会等の委員会への参加	その他	取り組みたい学術活動はない
1：100床未満	12	50.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	50.0%
2：100床以上200床未満	15	53.3%	20.0%	46.7%	20.0%	0.0%	20.0%
3：200床以上400床未満	42	69.0%	7.1%	26.2%	11.9%	0.0%	19.0%
4：400床以上	507	69.0%	14.0%	48.9%	21.5%	1.4%	14.0%
総計	576	68.2%	13.4%	46.4%	20.3%	1.2%	15.3%

将来的なキャリア形成の意向

	n数	認定薬剤師の取得	専門薬剤師の取得	学位（薬学博士）の取得	学位（薬学博士以外）の取得	その他
1：100床未満	12	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
2：100床以上200床未満	15	26.7%	33.3%	6.7%	13.3%	6.7%
3：200床以上400床未満	42	52.4%	19.0%	9.5%	0.0%	4.8%
4：400床以上	507	46.0%	31.0%	13.4%	5.3%	7.5%
総計	576	45.0%	29.9%	12.7%	5.0%	7.5%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

大学病院勤務か大学病院以外の病院勤務かによるキャリア形成に関する意向

- 大学病院勤務の薬剤師と大学病院以外で勤務する薬剤師の今後取り組みたい学術活動の割合の差分を見たところ、他の学術活動と比べて論文投稿の差分が最も大きい。
- 将来的なキャリア形成の意向に関しては大きな差はない。

今後取り組みたい学術活動

	n数	学会等でのポスター・口頭発表	学会等でのシンポジウム企画	論文投稿	日本病院薬剤師会や学会等の委員会への参加	その他	取り組みたい学術活動はない
1：大学病院	319	69.9%	14.7%	55.2%	26.1%	0.3%	12.2%
2：大学病院以外	188	67.6%	12.8%	38.3%	18.8%	3.2%	15.0%
総計	507	69.0%	14.0%	48.9%	21.5%	1.4%	14.0%

将来的なキャリア形成の意向

	n数	認定薬剤師の取得	専門薬剤師の取得	学位（薬学博士）の取得	学位（薬学博士以外）の取得	その他
1：大学病院	319	42.9%	32.3%	12.2%	6.9%	7.9%
2：大学病院以外	188	51.1%	28.7%	15.4%	2.7%	6.9%
総計	507	46.0%	31.0%	13.4%	5.3%	7.5%

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

考察

- 現状として規模が大きく、常勤薬剤師が多い病院で新人研修、レジデント制度が実施されている割合が高い。また、規模が小さい病院ほど、また常勤薬剤師が少ない病院ほど研修期間は短く、受け入れ人数も少ない傾向にある。
  - ➢ **規模が小さい病院、常勤薬剤師が少ない病院は研修を実施するにあたっての人的、費用的な余力が乏しいためであると考えられる。**
  - ➢ **研修費用を公的に負担することで卒後臨床研修を実施する施設が増えるものと考えられる。**

  ※ただし今回の調査対象病院は半数が大病院であるため、中小病院の現状を正しく反映できていない可能性がある。

- 薬剤師臨床研修を行うにあたって適切と考える時期を「免許取得後5年以内」と回答している薬剤師は、今後の学術活動やキャリア形成への意欲が高い傾向にある。
  - ➢ **免許取得後5年以内に研修を行うことで、学術活動や認定薬剤師の取得等を推進できる可能性がある。**

  ※ただし今回の調査対象の薬剤師の大部分は大病院勤務であるため、中小病院で勤務する薬剤師の現状を反映できていない可能性がある。

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.